

職員数 回収数 回答率

22 22

100%

チェック項目		はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点等
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	22	0	0	ホール、ミニホールなど皆で使うスペースについて、全体で時間など割り振って調整している。	
		100.0%	0.0%	0.0%		
	② 職員の配置数は適切であるか	22	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事務所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22	0	0			
	100.0%	0.0%	0.0%			
④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22	0	0	・コロナ禍で使用空間を工夫して活用できている。 ・毎月子どもの登園前に細かい所まで掃除をしている。 ・目に入ると集中が切れてしまう物や設定は外したり、タイミングを合わせたりしている。		
		100.0%	0.0%			0.0%
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	22	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
	⑥ 保護者等に向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	22	0	0	意見を真摯に受けとめていく気持ちの準備はいつもしているように心掛けている。	
		100.0%	0.0%	0.0%		
⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	22	0	0		ホームページを充実させていくと、時代に合っていくのでは。	
	100.0%	0.0%	0.0%			
⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	21	1			・部分的であり、個人に任されている。 ・対面での研修が配慮の上、再開されることを希望している。 ・園内研修の充実を図りたい。	
	95.5%	4.5%	0.0%			
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(注1)を作成しているか	22	0	0		クラスでのケースを重視している。時間の確保が課題。
		100.0%	0.0%	0.0%		
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	22	0	0		部分的で、ツールを使いこなせないケースもみられる。
		100.0%	0.0%	0.0%		
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の発達支援「本人支援」及び「移行支援」(注2)、「家族支援」、「地域支援」(注3)で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	0	0	チーム力が必須であると自覚していることが大切だと考え、共有していく工夫。		
	100.0%	0.0%	0.0%			
⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	22	0	0			
	100.0%	0.0%	0.0%			
⑭ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	22	0	0			
	100.0%	0.0%	0.0%			
⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	22	0	0			
	100.0%	0.0%	0.0%			
⑯ 支援計画開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	22	0	0			
	100.0%	0.0%	0.0%			

	⑰ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	22	0	0	反省の時間は確保されている。
		100.0%	0.0%	0.0%	
	⑱ 日々の支援に関して記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	22	0	0	・すぎ間時間も使い、常に行えている。 ・現在状況を作成する意味を感じている。
	⑲ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそのこどもの状況に精通したもともふさわしい者が参画しているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	
	㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	22	0	0	・モニタリングの中で確認できる範囲のことをし、必要に応じて連携を申し出ている。
		100.0%	0.0%	0.0%	
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関などと連絡体制を整えているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	
	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	22	0	0	保護者が感じていることを密に伝え合えるような関係を構築しておくことを大切にしている。
		100.0%	0.0%	0.0%	
	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	21	1	0	引継ぎを行っているが、図れる場合とそうでない場合がある。
		95.5%	4.5%	0.0%	
	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	22	0	0	積極的に行うべきと思う。
		100.0%	0.0%	0.0%	
	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	22	0	0	ご家庭での様子を聞いている。
		100.0%	0.0%	0.0%	
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	20	1	1	・保護者同士の自然な関わりの中では行われているが、コロナ対策の関係もあり、積極的な支援の場は持っていない。 ・ケースにより、積極的に活かさないこともある。また、ペアレントトレーニング研修は一部。
		90.9%	4.5%	4.5%	
	⑳ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	
	㉑ 児童発達支援のガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容を、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	
	㉒ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	
	㉓ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	22	0	0	コロナ禍の状況だが、できる範囲内での環境作り等の工夫はしている。
		100.0%	0.0%	0.0%	
	㉔ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	
	㉕ 定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか	22	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	

②⑥	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	22	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
②⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	22	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
②⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	15	7	0		
		68.2%	31.8%	0.0%		
非常時等の対応	③⑨ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	22	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑩ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	22	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑪ 事前に服薬や予防接種、てんかん発作などの子どもの状況を確認しているか	22	0	0		
		100.0%	0.0%	0.0%		
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	22	0	0		
100.0%		0.0%	0.0%			
④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	22	0	0			
	100.0%	0.0%	0.0%			
④⑭ 虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	22	0	0			
	100.0%	0.0%	0.0%			

「児童発達支援計画」は、子どもの療育目標(生活面・運動面・社会面・言語面など)や留意点等を各期ごとに立案し、保護者に提示をする計画書のことであり、青い実学園では「個別支援計画」と呼んでいます。

- 2 「移行支援」とは、地域の保育施設や教育機関(幼稚園、学校)等の適切な支援を受けられるよう、連携や調整等を行うことです。
- 3 「地域支援」とは、子どもの地域での生活を充実させるため、医療機関、保健センター等の関係機関と連携を行い、支援体制の構築を図ることです。

◎ この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。